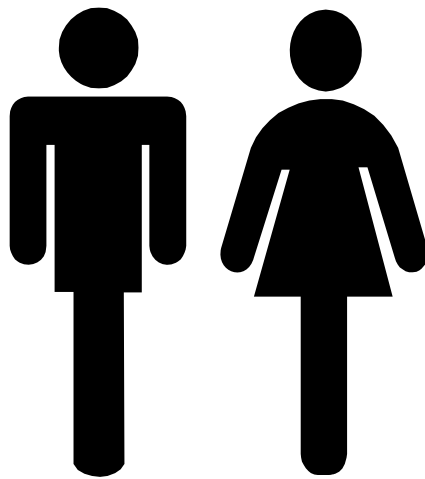


学校における快適な生活空間としてのトイレのあり方について
(調査報告書)



平成 20 年 12 月

川崎市市議会議員 吉沢 章子

目 次

1. 調査の目的	2
2. 調査テーマ	2
3. 調査方法	2
4. 調査期間	2
5. 調査スタッフ	3
6. 調査結果	3
(1) 新しい学校トイレのスタイルの研究、事例調査	3
(2) 子供たち自身が使いやすいトイレづくりの実践	6
(3) 清潔な清掃管理がしやすいトイレの最新技術	8



1. 調査の目的

一般家庭の生活様式が西洋スタイルに進んでいる中、学校のトイレは、公衆便所などと同様に、直接肌を接触することへの嫌悪感から旧態依然とした発想の和式便器の仕様で整備されてきた。

しかし、一般家庭の便器が西洋トイレ化して和式トイレを知らない子供たちの時代になった。

また、近年、学校施設の地域開放が一般化したことで、高齢者を含む大人の利用にも対応した機能が求められることになっている。

更に、教育的視点からもトイレを子供たち自らがきれいに管理することで、日頃の利用のマナーなどを身に付けさせ、「汚い物」から「快適な空間」として、意識にとらえることは情操教育につながることになる。

川崎市の学校トイレを計画的に整備することで、このようなコンセプトに基づき、明るいきれいな学校トイレが早期に実現するよう建築家の立場から、市政に働きかけていくための調査とする。

2. 調査テーマ

- 新しい学校トイレのスタイルの研究・事例調査
- 子供たち自身が使いやすいトイレづくり
- 清潔な清掃管理がしやすいトイレの機能

3. 調査方法

住宅機器メーカー「TOTO」学校トイレ研究会メンバーとの懇談

参加型トイレづくりの協議・現場の見学

「TOTO」ショールームの視察調査

4. 調査期間

平成 20 年 10 月から平成 20 年 12 月

5. 調査スタッフ

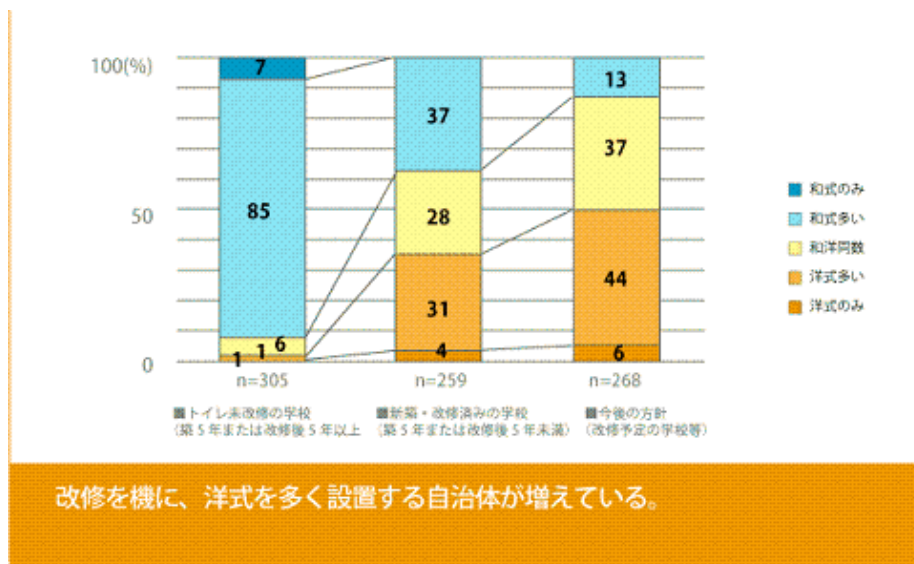
吉沢 章子 栗田 雅子 竹内 みどり

報告書作成 竹内 みどり

6. 調査結果

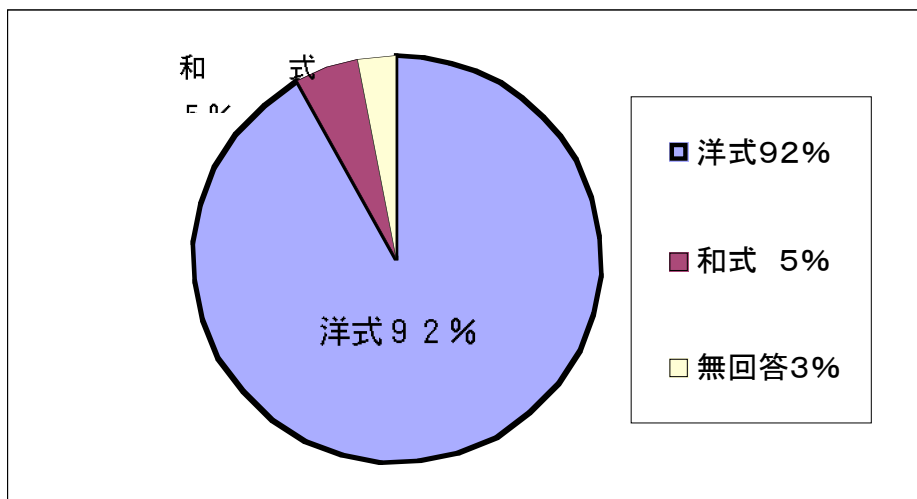
(1) 新しい学校トイレのスタイルの研究・事例調査

洋式トイレの設置率(TOTO 調べ)



児童の意識調査(アンケート結果)

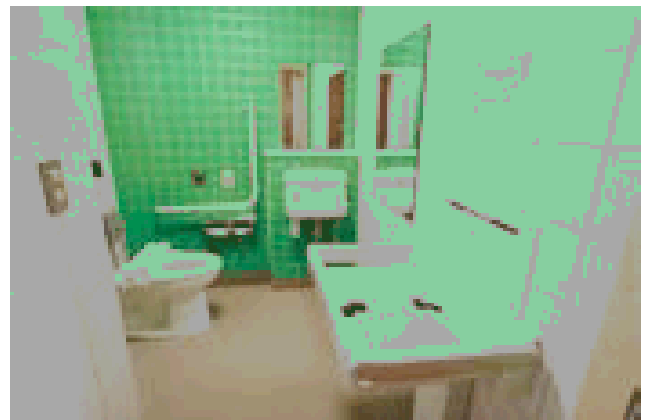
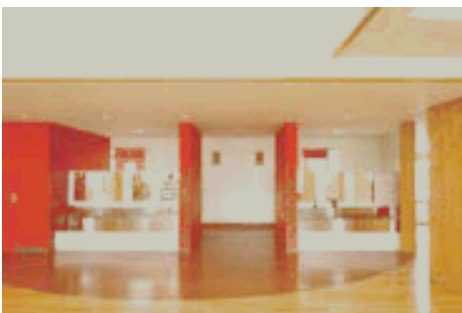
新しいトイレができるとしたら、洋式・和式どちらがよいですか？
(某市立小学校アンケート調査・TOTO 調べ)



「TOTO」ショールームの視察調査



学校トイレのデザイン事例



(2)子供たち自身が使いやすいトイレづくりの実践

◎ みんなの夢をそのままかたちに！！

(ワークショップによる学校づくり 三重県いなべ市立石樽小学校)

— 主な意見 —

ブースごとに窓を付ける

上履きのままで行けるトイレがいい

自動で水が流れるように

明るくきれいなトイレに

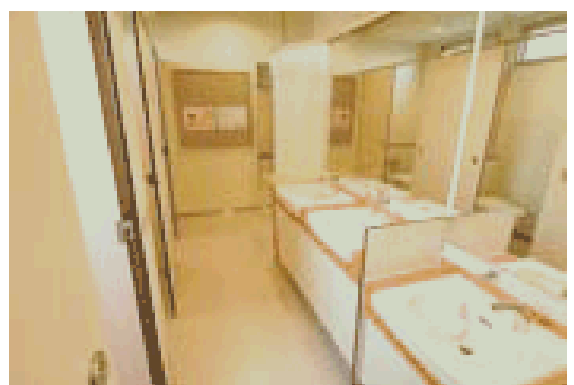
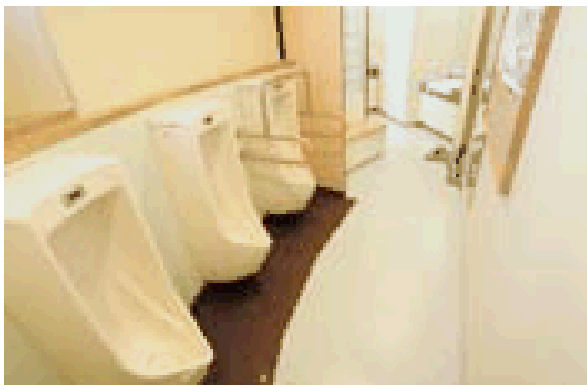
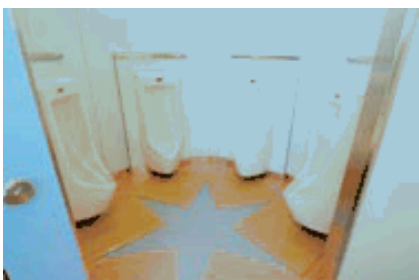
ひとりになれる学校で唯一の場所

使いたいときに使える数や位置

カラフルなトイレが欲しい

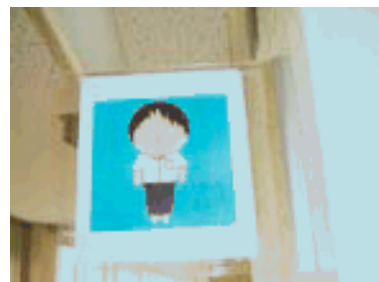
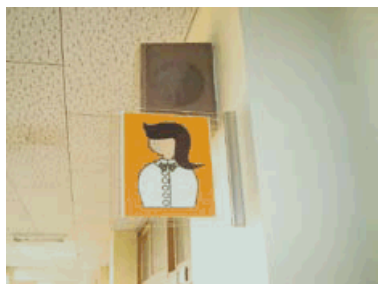
いつでもきれいなトイレ 掃除のしやすいトイレ

『完成したトイレ』



子供たちがデザインした楽しいトイレサイン

岡山市の事例



市立操南中学校のトイレサイン。子どもたちのデザインを採用。



市立竜之口小学校のトイレサイン

(3) 清潔な 清掃管理がしやすいトイレの最新技術

- ① ハイドロテクトタイル
光触媒作用で雑菌を分解し、小便器まわりの清掃を楽にする。
- ② 自動洗浄小便器 シアテクト
電解水で小便器を洗浄し、トラップの汚れ付着を抑制する。
- ③ セフィオンテクト仕様
イオン効果で汚れが付きにくく落ちやすいので、清掃の負担を軽減。

トイレの清掃は誰が？

